

淋しい冬を、華やかにしてくれます。

< 植物名 >

ナルキッソス(スイセン)
スイセン(ニホンズイセン) 'テータテート'

水やり

土の表面が乾いたら適度な水やりを行う。

置き場所

戸外の日当たりの良い場所に置く。水はけが良く、肥沃な土壌が適している。

用土肥料

開花後、窒素分が少なめの化成肥料を追肥する。

植え替え

2～3年は植えっ放しで大丈夫。

ふやし方

特記事項なし。

冬越し

特記事項なし。

使い方 庭植え、鉢植え

学名 Narcissus 'Tete-a-Tete'

英名 daffodil, narcissus

属名 スイセン

科名 ヒガンバナ

性状(分類) 球根植物

原産地 ユーラシア

花の色 濃黄

開花期 冬～春

購入時期

草丈

ID 48

季節 冬、春

JFコード 31921



冬越しと置き場所

日光を好むので、戸外の日当たりの良い場所に置く。水はけが良く、肥沃な土壌が最も適している。ある程度の寒さに当たらないと花が咲かないので、観賞用に屋内に取り込む場合は注意する。

その他の解説

2～3年は植えっ放しで大丈夫。球根を掘り上げる時は葉が黄変してから行う。開花後、窒素分が少なめの化成肥料を追肥する。

特徴1

地中海沿岸、ヨーロッパ原産の球根植物。'テータテート'はシクラミニウス・スイセンとも呼ばれ、濃黄色の花をつける品種である。土の表面が乾いたら適度な水やりを行う。

特徴2

スイセンの原産地は地中海沿岸地方で、約30種以上が分布しているといわれる。ヨーロッパを中心に古くから栽培、改良されて多くの品種が生まれている。花色は花弁が白か黄、副花冠は白、黄、赤、ピンク、グリーンなどで花弁と副花冠が同色、あるいは色違いといったさまざまなバリエーションがある。球根は鱗茎でラッキョウ形をしており、色の少ない冬の庭を彩る代表的な秋植え球根植物の一つ。香りの良い品種もある。